

アンケート調査票に係る意見一覧

| 番号 | アンケート種別 | アンケート調査票の種別 | 委員氏名 | 提出された意見 | 受託事業者からの補足意見 | 提出された意見に対する事務局の対応方針（補足） | |
|----|---------------|-------------|--------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------|-------------------------------|-------------------------------------|
| 1 | 全般 | 共通 | 清水 理恵 | アンケートは、見返り・やりがいがないため、面倒になってしまいがちだが、例えば・はにぼんチャレンジのポイントと連携する。 ・子育て支援サイト独自のポイントを作って例えば何か景品や市内飲食店のお食事券などを用意する。 といった工夫をすることで、たくさん意見した人はどんどんポイントが増えていくなどやりがいをもってやれると楽しいと思う。 他の自治体アンケートを見ると抽選でクオカードや市内の洋菓子店のお菓子、市のキャラクターグッズをプレゼントしてたりしますので他の自治体の取り組みが参考にできると考える。 | | ご意見として受け止める | |
| 2 | 全般 | 共通 | 清水 理恵 | 子育ての当事者となり、様々な場面で「こうだったらいいのに」など色々考える。 子育てでしていて感じること「こうだったらいいと思うことはあるか」などフリーコメント欄が一つでもあれば良いと思う。 | | すべてのアンケート調査票にフリースペース欄を増設 | |
| 3 | 子ども・子育て支援事業計画 | 共通 | 伊井 久美子 | 児童センターで子育てサロンを行っており、悩みや困りごとがある保護者の支援策や希望する方策が必要と考える。相談できる人や場所に関する設問が必要ではないか。 | | 設問を増設 | 前回のアンケート調査票や国のモデル調査票を参考にする。 |
| 4 | 子ども・子育て支援事業計画 | 共通 | 清水 理恵 | アンケートは、聞かれるだけで結果に反映されているのかという思いが嫌厭感につながる。自由記述欄を設けることで双方向のアンケートにすることができるのではないか。 | | 設問を増設 | 子育て支援策や環境に関する満足度に関する選択肢及び自由記述欄を設ける。 |
| 5 | 子ども・子育て支援事業計画 | 就学前児童保護者票 | 清水 理恵 | （問13）設問中のサービス等を認知していない人があるのではないか。 | | 用語の注釈を挿入 | 調査票に用語の注釈又は市HPのQRコードを記載するなどの工夫をする。 |
| 6 | 子ども・子育て支援事業計画 | 共通 | 清水 理恵 | 市の子育て支援サイトなどを活用したアンケートを実施してはどうか。 | | ご意見として受け止める | サイトの活用及び活用の可能性について、今後検討する。 |
| 7 | 子ども・子育て支援事業計画 | 共通 | 星野 麻由美 | 番号3の意見と同様で、幼稚園で開催している教室に来る世帯が少なくなっていて、来なくなった人は今何をしているのかという思いがある。来られない方がどういう支援を求めているか、相談先に関する設問が必要と考える。 | | 設問を増設 | 前回のアンケート調査票や国のモデル調査票を参考にする。 |
| 8 | 子ども・子育て支援事業計画 | 共通 | 高橋 公男 | （問5・問6）質問の順序の意味について。 | | 修正なし | 国のモデル調査票のとおり。 |
| 9 | 子ども・子育て支援事業計画 | 共通 | 高橋 公男 | （問5-2・問6-2）フルタイムへの転換希望を聞いている。選択肢の4は不要ではないか。 | 家庭累計を求める設問・選択肢である。 | 修正なし | 国のモデル調査票のとおり。 |
| 10 | 子ども・子育て支援事業計画 | 就学前児童保護者票 | 高橋 公男 | （問14-1）選択肢3「不特定の就労」の説明が必要ではないか。 | | 用語の注釈を挿入 | |
| 11 | 子ども・子育て支援事業計画 | 就学前児童保護者票 | 高橋 公男 | （問14-1・問15-1）選択肢の表現をそろえた方がよいのではないか。 | そもそも選択肢の様な区別をする必要はないと考えるが、量の見込みの算出について国の指針を確認する。 | 修正なし | 国のモデル調査票のとおり。 |
| 12 | 子ども・子育て支援事業計画 | 共通 | 根岸 広幸 | 就学前児童保護者票（問16）（問17）、小学生児童保護者票（問10）（問11）現在の設問だと、現在の利用実績が捉えられていない。 | | 月ごとの利用実績は確認することができるため、修正なしとする | |
| 13 | 子ども・子育て支援事業計画 | 共通 | 根岸 広幸 | 学童の利用理由を問う設問が必要ではないか。 また、土日の利用希望を問う設問が必要ではないか。 ※平成30年10月に三重県四日市市が実施したアンケート調査票参照 | | 設問を増設する | 前回調査票などを参照する。 |
| 14 | 子ども・子育て支援事業計画 | 共通 | 根岸 広幸 | 放課後等デイサービス等（児童の発達支援含む）の利用ニーズを問う設問が必要ではないか。 | | 障害児福祉計画で実施しているアンケート調査を確認する | |
| 15 | 子ども・子育て支援事業計画 | 共通 | 根岸 広幸 | ファミリーサポート事業に関する設問が必要ではないか。 ※平成30年10月に三重県四日市市が実施したアンケート調査票参照 | | 検討中 | |

アンケート調査票に係る意見一覧

| 番号 | アンケート種別 | アンケート調査票の種別 | 委員氏名 | 提出された意見 | 受託事業者からの補足意見 | 提出された意見に対する事務局の対応方針（補足） | |
|----|---------------|-------------|--------|----------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------|----------------------------------------------------------|
| 16 | 子ども・子育て支援事業計画 | 共通 | 根岸 広幸 | 就学前児童保護者票（問16）（問17）、小学生児童保護者票（問10）（問11） 設問が「1年間の利用日数」を問うているが、選択肢が「週に〇日くらい」となっている。 | | 設問と選択肢の整合させるよう文章を修正 | |
| 17 | 子ども・子育て支援事業計画 | 小学生児童保護者票 | 子育て支援課 | 小学生児童保護者票（問10）（問11） アンケート対象世帯が無作為抽出のため、設問の文章を検討する必要があると思われる。 | | 文章を修正 | |
| 18 | 子ども・子育て支援事業計画 | 共通 | 子育て支援課 | 前回調査票の間31～34の設問について、今回も継続して調査したいと考える。 | | 設問を増設 | |
| 19 | 子ども・子育て支援事業計画 | 共通 | 子育て支援課 | 依頼文のなかで、「ぎょうせいにて利用させていただく」との断りがあるがどうか。他自治体もいれているものか。 | | 文章を修正 | |
| 20 | 子どもの貧困対策計画 | 小・中学生票共通 | 清水 理恵 | （問12）就寝時間より睡眠時間を聞く設問にしたほうが良いのではないか。 | | 選択肢に睡眠時間の記入欄を追加 | |
| 21 | 子どもの貧困対策計画 | 小・中学生票共通 | 清水 理恵 | 悩み事について、自由記述欄を設けることは可能か。 選択肢でもよいかもしれない。 | | アンケート調査票にフリースペース欄を増設 | |
| 22 | 子どもの貧困対策計画 | 共通 | 高橋 公男 | 小・中学生票共通（問14）、保護者票（問25） 選択肢のスケールをシンプルにした方がよいと考える。 | 小・中学生票共通（問11）と同じような聞き方にしてもよいと考える。 | 選択肢を修正 | |
| 23 | 子どもの貧困対策計画 | 小・中学生票共通 | 高橋 公男 | （問15）設問が15問あるが、回答時間等の兼ね合いを考えるとボリュームが多いと考える。 | 設問を絞り込んでもよいと考える。 | 設問を絞り込む検討中 | |
| 24 | 子どもの貧困対策計画 | 小・中学生票共通 | 高橋 公男 | （問17）設問の文章の整理をしてはどうか。また、回答は当てはまるものに〇をするというような選択肢でもよいのではないかと考える。 | 第三者から見たときに、何に当てはまるのかを分らないようにする配慮した選択肢になっているが、当てはまる・当てはまらないを回答する選択肢でもよいと考える。また、関係部署に確認した方がよいと考える。 | 設問の文章の簡素化を検討中 | |
| 25 | 子どもの貧困対策計画 | 小・中学生票共通 | 高橋 公男 | （問18）子ども食堂や居場所のことと思われるが、本庄市で実施してる事業はあるか。また、設問（3）の具体例を記載してはどうか。 | | 具体例を記載（アサポート） | |
| 26 | 子どもの貧困対策計画 | 保護者票 | 高橋 公男 | （問6）（問7）設問及び選択肢の整理が必要だと考える。（問3）の家族構成を回答する設問でよいのではないかと考える。 | 保護者票では（問3）及び（問20）は削ることはできない選択肢である。（問6）（問7）について、関係部署に確認した方がよいと考える。 なお、未婚の理由による所得への影響を確認する場合に（問7）は必要となる。 | 検討中 | |
| 27 | 子どもの貧困対策計画 | 保護者票 | 高橋 公男 | （問18：最終頁）選択肢（3）（4）の並びを逆にした方が、制度面のまとまりが出るのではないかと考える。（1）から（3）は給付、（4）から（5）は相談窓口 | 設問自体に誤りがあるため、内容を確認する。 | 設問を修正 | |
| 28 | 子どもの貧困対策計画 | 小・中学生票共通 | 清水 理恵 | ・おこづかいの金額 ・どういう形でもらうか。「月額制」「欲しいときに買ってもらう」など。 ・おこづかいの使途 | | 設問を増設しない | |
| 29 | 子どもの貧困対策計画 | 小・中学生票共通 | 清水 理恵 | （精神的に健全であるかを調べるため） ・睡眠時間 ・趣味、好きなことはあるか、それに時間を使えるか ・家庭、学校以外で自分の居場所と思えるところはあるか | | 設問を増設 | |
| 30 | 子どもの貧困対策計画 | 小・中学生票共通 | 清水 理恵 | ヤングケアラーに関する設問 | | 設問を増設 | ヤングケアラー支援体制強化事業実施要綱に記載されている項目は必須とする |
| 31 | 子どもの貧困対策計画 | 共通 | 清水 理恵 | ・塾や習い事をしているか、いくつしているか ・必需品（学用品など）が不自由なく買えているか | | 習い事に関する設問を増設 | 「必需品（学用品など）が不自由なく買えているか」については、子どもに直接的な貧困状況聞く設問であるため増設しない |
| 32 | 子どもの貧困対策計画 | 保護者票 | 清水 理恵 | 親のアンケートは調査に関して本当に必要な部分（収入・世帯構成）だけで良いと考える。例えば（問9）で親の学歴と子供の貧困がどう関係するか調査で関連性や傾向を調べるとのことか。 | | 設問を精査する | |

アンケート調査票に係る意見一覧

| 番号 | アンケート種別 | アンケート調査票の種別 | 委員氏名 | 提出された意見 | 受託事業者からの補足意見 | 提出された意見に対する事務局の対応方針（補足） | |
|----|-------------|-------------|--------|----------------------------------------------------------------------------------------------|--------------|-------------------------|-------------------|
| 33 | 子どもの貧困対策計画 | 保護者票 | 子育て支援課 | 貧困家庭状況と子どもの状況の相関関係を調査するうえで、親の心理状態を確認する必要があるか。もしなければ、問24は必要ないと考える。 | | 設問を削除を検討する | |
| 34 | 子どもの貧困対策計画 | ー | 清水 理恵 | 貧困しているという感覚を持った子供がいることを調査できればそれだけで十分ではないかと感じている。子供がどう貧困なのかということに対してフォーカスしていったほうが貧困調査になると思った。 | | ご意見として受け止める | |
| 35 | 次世代育成支援行動計画 | 子ども・若者意識調査票 | 新井 千鶴子 | （問20）相談内容ごとの相談先の選択肢を設定した方が良いのではないか。 | | 相談内容ごとの相談先を設定 | |
| 36 | 次世代育成支援行動計画 | 子ども・若者意識調査票 | 伊井 久美子 | 悩み事などの相談先が必要かどうか、必要であればどのような相談先が必要かを問う設問が必要ではないか。 | | 設問を精査する | |
| 37 | 次世代育成支援行動計画 | 子ども・若者意識調査票 | 清水 理恵 | 市のサービスや事業の認知を問う設問が必要ではないか。 | | 設問を増設 | |
| 38 | 次世代育成支援行動計画 | 子ども・若者意識調査票 | 清水 理恵 | 引きこもりに関する設問は今回検討するのか。 | | 設問を増設 | 引きこもりに関する調査も今回行う。 |
| 39 | 次世代育成支援行動計画 | 子ども・若者意識調査票 | 清水 理恵 | （問6）（問7）への導入部分の「結婚ができる年齢」について、女性18歳ではないか。 | | 表記を修正 | |
| 40 | 次世代育成支援行動計画 | 子ども・若者意識調査票 | 清水 理恵 | （問11）（問12）選択肢が「はい」「いいえ」のみでは回答しにくいと感じる。段階を設けた肢とした方がよいと感じる。 | | 選択肢を修正 | |
| 41 | 次世代育成支援行動計画 | 子ども・若者意識調査票 | 清水 理恵 | （問25）Twitter ⇒ X（旧Twitter）等の表現のほうが適切ではないか。 また、スマホゲームやYoutubeをしている方が多いので選択肢に入れても良いと感じる。 | | 表記を修正 | |
| 42 | 次世代育成支援行動計画 | 子ども・若者意識調査票 | 清水 理恵 | （問26）テレワークの場合も踏まえたほうが良いと思う。 | | 選択肢を修正 | |